

第2期北本市まち・ひと・しごと創生総合戦略(案)概要

第2期北本市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定にあたって

| | |
|---------|---|
| 計画策定の趣旨 | 第五次北本市総合振興計画後期基本計画(以下「後期基本計画」という。)の施策、成果指標および指標をもとに、第2期北本市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「本戦略」という。)の目標とその方向性、数値目標、主な関連施策およびKPI(Key Performance Indicator:重要業績評価指標)を位置付けることで、後期基本計画と本戦略とを一体的に策定し、人口減少対策や産業をはじめとした地域の活性化等、地方創生に係る取組を総合的に進めていきます。 |
| 計画の期間 | 令和4年度から7年度までの4年間 |
| 進行管理 | 本戦略では、基本目標の達成状況を示す数値目標および基本目標における主な関連施策の取組の動向を示すKPIを設定し、その効果を客観的に確認できるようにしています。 この実行については、PDCAマネジメントサイクルに基づき、庁内組織である「北本市行政経営会議」(以下「行政経営会議」という。)の下、各担当部局において取組・検証・評価等を実施するとともに、有識者会議において取組の検証および評価等を併せて行うこととします。 |

4つの基本目標と2つの横断的な目標

| | 基本目標 1 | 基本目標 2 | 基本目標 3 | 基本目標 4 |
|-------------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|--------------------------------------|
| | <u>稼ぐ産業と安定した雇用を創出する</u> | <u>新しい人の流れとつながりをつくる</u> | <u>若い世代の出生・子育ての希望をかなえる</u> | <u>ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる</u> |
| 横断的な目標 1 | <u>多様な人材の活躍を推進する</u> | | | |
| 横断的な目標 2 | <u>新しい時代の流れを力にする</u> | | | |

基本目標1 稼ぐ産業と安定した雇用を創出する

■方向性

地域の特色・強みを生かした産業の振興や地域経済を牽引する企業・農業者等の育成強化とともに、市内経済の好循環に向けた産業構造の構築を図ります。また、新たな創業・開業や次世代へ向けた円滑な事業承継等に向けた支援を行うとともに、企業誘致や、雇用の創出に取り組むこと等で、市内経済の活性化を図ります。

| | | 数値目標 | |
|-----|---------------|------------------|---------|
| 指標 | | 当初値 | 目標値 |
| 5-1 | 就業者一人あたり市内純生産 | 431.5万円 (H30) | 438.3万円 |
| 5-3 | 市内有効求人倍率 | - | 1.24倍 |

基本目標2 新しい人の流れとつながりをつくる

■方向性

若者の生活形態に合わせた居住空間やオフィス・店舗の整備等を行うとともに、移住・定住・創業窓口の一元化により、移住・定住を希望する人へワンストップの支援を行うことで、新たな生活様式に合わせた人の流れの創出や、ライフスタイルの確立等を支援します。また、企業や個人による地方への寄附・投資等を呼び込み地方創生の取組への積極的な関与を促します。

| | | 数値目標 | |
|-----|--------------------|--------|-----|
| 指標 | | 当初値 | 目標値 |
| 6-3 | ふるさと納税寄附件数 | 3,908件 | ↗ |
| 7-1 | 25歳から34歳までの女性の社会増減 | -40人 | 0人 |

基本目標3 若い世代の出産・子育ての希望をかなえる

■方向性

子育てに関する相談体制の整備や子育て世帯の経済的負担の軽減、質の高い保育環境の整備等、妊娠期から子育て期にわたり、子育て世帯それぞれの生活様式に沿った支援を行うとともに、子育て等と仕事が両立できる職場環境づくりに取り組む事業者への支援等を行い、若者や女性等の市内での就労を促進すること等により、安心して子どもを産み育てることができる環境を整備します。

| 指標 | | 数値目標 | |
|-----|----------------------------|------|------|
| | | 当初値 | 目標値 |
| 1-1 | 市の子育て支援策が充実していると思う子育て世帯の割合 | - | ↗ |
| 7-2 | 出生数 | 340人 | 380人 |

基本目標4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

■方向性

・ 公共的空間の利活用や空き家・空き店舗等の遊休資産の再生・活用、歴史・文化を活かした取組等を通して、まちににぎわいと活力を生み出し、豊富な自然環境等の“みどり”とともにある暮らしや居住空間の魅力向上を図ります。

・ 誰もが安心して快適かつアクティブに暮らすことができるよう、都市機能・日常生活サービス機能の充実や、人と人がつながり交流する地域社会づくりを推進するとともに、自然災害に対して関東有数の強度を持つ優位性を生かして、総合的な災害対応力を高めます。また、脱炭素社会の実現へ向けて、再生可能エネルギーの普及等を推進します。

| 指標 | | 数値目標 | | |
|-----|---------------------------|--------------|----------------|--------|
| | | 当初値 | 目標値 | |
| 2-2 | 65歳健康寿命 | 男性 | 18.43年(R1) | 19.00年 |
| | | 女性 | 20.72年(R1) | 21.50年 |
| 3-2 | 地域活動に参加している市民の割合 | 34.2% | ↗ | |
| 4-1 | 安全で安らげるまちなみとなっていると思う市民の割合 | 57.6% | 60.3% | |
| 4-3 | 温室効果ガスの総排出量(市全体) | 272,000t-CO2 | 246,500t-CO2/年 | |
| 4-6 | 災害による負傷者数および死亡者数 | 0人 | 0人/年 | |

横断的な目標1 多様な人材の活躍を推進する

■方向性
 活力ある地域社会の実現へ向けて、市民をはじめ地域団体、NPO、民間企業、教育機関、地域外の個人等、地域に関わるすべての人が地域の担い手として自ら積極的に参画し、個性と能力を十分に発揮できる環境づくりを推進します。

| 指標 | | 数値目標 | | |
|-----|-----------------------|------|--------|-------|
| | | | 当初値 | 目標値 |
| 1-4 | 地域に学習の機会と場がある児童・生徒の割合 | 児童 | 48.6% | 60.0% |
| | | 生徒 | 26.2% | 60.0% |
| 3-1 | 市民参画手続きに参画した人数 | | 1,741人 | ↗ |
| 3-1 | 協働により実施した事業の件数 | | 1件 | 2件/年 |
| 3-2 | 地域活動に参加している市民の割合 | | 34.2% | ↗ |

横断的な目標2 新しい時代の流れを力にする

■方向性
 情報通信技術等の未来技術の活用により、教育や公共・社会基盤等の分野におけるDX等を推進することで、地域課題の解決に取り組むとともに、地域の魅力向上を図ります。また、地域の活性化等を通じて持続可能なまちづくりを進めるため、SDGsを推進します。

| 指標 | | 数値目標 | | |
|-----|-----------------------|------|-----|-----|
| | | | 当初値 | 目標値 |
| 6-3 | AI・RPA等のデジタル技術を活用した件数 | | 11件 | 20件 |